

## 2011 年度第 2 回番組審議会議事録

1. 開催日時 2011 年 7 月 27 日（水）17：00～18：00

2. 開催場所 会議室

### 3. 委員の出席

3-1. 委員総数 7 名

3-2. 出席委員 7 名 西修・正岡健二・萩尾利雄・木辻清子・山本幸男・為岡務・平川愛恵  
補：放送事業者側出席者 金 千秋、國本隆史、平野由美子

### 4. 議事

#### 4-1. 番組審議

第 2 回審議番組：「Re：C ラジオ」（30 分）

6 月 25 日（土） 16：00～16：30 放送

6 月 30 日（木） 13：00～13：30 再放送

パーソナリティ：コックミ、ノック、いずみ

ディレクター、ミキサー：國本隆史

毎月第 4 土曜日 16：00～16：30 放送、翌週木曜日 13：00～13：30 再放送。

多文化な背景を持つ子どもたちによる表現活動「Re：C」に集う、3 人の女子中学生が担当する番組。ディレクター、ミキサーは、Re：C、わいわい TV 担当スタッフ。

今回は、東日本大震災後大きな社会問題になっている原子力発電について語り合っていました。また、中学生らしい身近な話題も取り上げていました。

### 5. 議事の概要

5-1. 番組の基本コンセプトの説明後、審議を行う。

#### 【放送事業者側出席者：國本隆史】

- ・ 番組は子どもの声をそのまま電波に乗せることが大事だと思っている。しかし、それまで担当していた高校生が皆卒業してしまい、2011 年 4 月から中学生たちのみでやり始めて今回が 3 回目の放送ということで、まだ不慣れである。
- ・ 収録の前は、子どもたちの我慢できる範囲で準備はしている。
- ・ 番組で取り上げるテーマはこれから検討していくつもりである。

### 6. 審議内容

#### 6-1. 出席者の審議

#### 【萩尾利雄委員】

- ・ 普段から中学生くらいの年代の日常会話は聞きづらいと思っているので、そのまま電波に乗せるのはいかななものかと考える。リスナーの世代によっては感覚が違うとは思いますが。
- ・ 多文化な背景を持つ子どもというのが大前提であるなら、異文化の出会いには嬉しいことや嫌なこと、傷つくことなどいろいろなことがありえるということを教えないといけない。しかし、喜びの話をテーマにした方がよい。

#### 【為岡務委員】

- ・ 言葉遣いをもっと丁寧心がけてほしい。
- ・ いきなり会話が始まり、聴きにくい。
- ・ 内容、考え方はよいと思う。子どもなりの捉え方をうまく反映させてほしい。

#### 【平川愛恵委員】

- ・ Re：C の子どもたちが地域で活動しているのを見ているので、収録風景が目につくよう

楽しく聞くことができた。

- ・ 変にラジオ慣れしていないところがよい。言葉遣いの点もそうだが、少しずつ経験を積んで時間をかけて成長するのを期待している。今しかできない話をしてほしい。

#### 【木辻清子委員】

- ・ やはり急に番組が始まったように感じて聴きづらかった。
- ・ 話題がごちゃごちゃした感じがあるので、内容、構成をもっと考えてほしい。
- ・ 大人が子どもに教えているという雰囲気はよかった。

#### 【山本幸男委員長】

- ・ もっと練習をしてほしい。
- ・ 終わり方が面白かった。

#### 【正岡健二委員】

- ・ マイクとの距離が一定していない。
- ・ ドナリの部分はもっと元気よく。リスナーをつかむためにはとても大事なことである。
- ・ 一つのテーマにもっと突っ込んで広げていくと聴きやすくなる。
- ・ 整理のできた雑談は聞くに堪えるが、そこまで達していない。
- ・ ラジオであるから、質問されたら沈黙するというのは気をつけてほしい。
- ・ 番組を通して、自分たちが語りかけている相手が一人なのか、何百人もいるのかということイメージできたらタメロにはならないのではないか。
- ・ 子どもの中でリーダーシップをとる存在が必要。
- ・ 「子どもの声をそのまま」というのはわかるが、ラジオでするべきではない話題もある。
- ・ 訓練している場を本番に使うという番組は他ではありえない。FM わいわいだからありえること。局側がそれでよいなら構わないが、広がっていかないのではないかと危惧する。

#### 【西修委員長】

- ・ スタートの「Re : C ラジオ」という掛け声が暗い。取り直した方がよい。
- ・ 後半はほとんど雑談であった。私は若い人なりの会話は嫌いではないが、番組として誰をターゲットにしているのが問題である。同世代の子たちなら抵抗はないと思われるが…。
- ・ 今回の原発の話のような話題は、大人の側が説明の仕方に注意する必要がある。ある人の意見は A だが、他の人は B と言っているというように、いろいろと考えさせたり、選択肢を提示しないと考え方が偏ってしまう。

#### 【放送事業者側出席者：金千秋】

- ・ 3月に卒業した子たちも何年もかかってマイクの前でしゃべるということに慣れてきた。番組をすることが訓練の場、成長する場となっているのは確かだがそれを見守っていきたい。

#### 7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった措置

- ・ 担当者に連絡

#### 8. 審議内容の公表について

##### 8-1. 公表内容 議事の内容

##### 8-2. 公表方法

8-2-1. 自社放送・・・2011年9月10日12:00～13:55の番組内で放送予定

8-2-2. 議事録の設置

8-2-3. ホームページに掲載

以上